

1

(30 点)

平行四辺形  $ABCD$  において、辺  $AB$  を  $1:1$  に内分する点を  $E$ 、辺  $BC$  を  $2:1$  に内分する点を  $F$ 、辺  $CD$  を  $3:1$  に内分する点を  $G$  とする。線分  $CE$  と線分  $FG$  の交点を  $P$  とし、線分  $AP$  を延長した直線と辺  $BC$  の交点を  $Q$  とするとき、比  $AP:PQ$  を求めよ。

(2013 年 京都大学前期理系)

[解答例](B10)

直線  $AD$  と直線  $CE$  の交点を点  $R$ 、直線  $AD$  と直線  $FG$  の交点を点  $S$  とおく。なお、これを図にしたものが図 1 である。

仮定より辺  $AD$  と  $BC$  が平行なので、錯角および対頂角を考えれば、

$\triangle REA \sim \triangle CEB, \triangle DGS \sim \triangle CGF, \triangle RPS \sim \triangle CPF, \triangle RPA \sim \triangle CPQ$  である。

$\triangle REA \sim \triangle CEB$  より、

$$RA:CB = AE:BE = 1:1$$

である。また、 $\triangle DGS \sim \triangle CGF$  より、

$$DS:CF = DG:GC = 1:3$$

である。よって、問題の仮定  $AD = CB = 3CF$  と合わせれば、

$$RS:CF = CB + AD + DS:CF = 19:3$$

と分かる。よって、 $RP:PC = RS:CF = 19:3$ 。  $\triangle RPA \sim \triangle CPQ$  より

$AP:PQ = RP:PC$  であるから、

$$AP:PQ = 19:3.$$

(解答終)

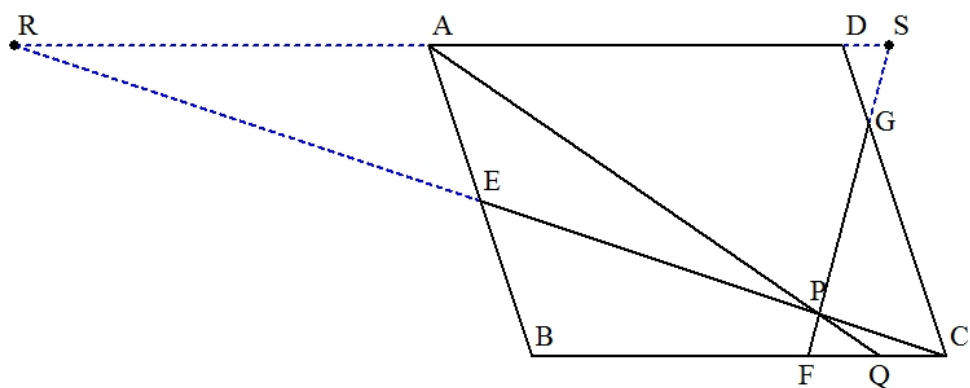


図 1



この文書は、注のある部分を除き、クリエイティブ・コモンズ 表示 - 継承 4.0 国際 ライセンス (<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/>) の下に公開されています。